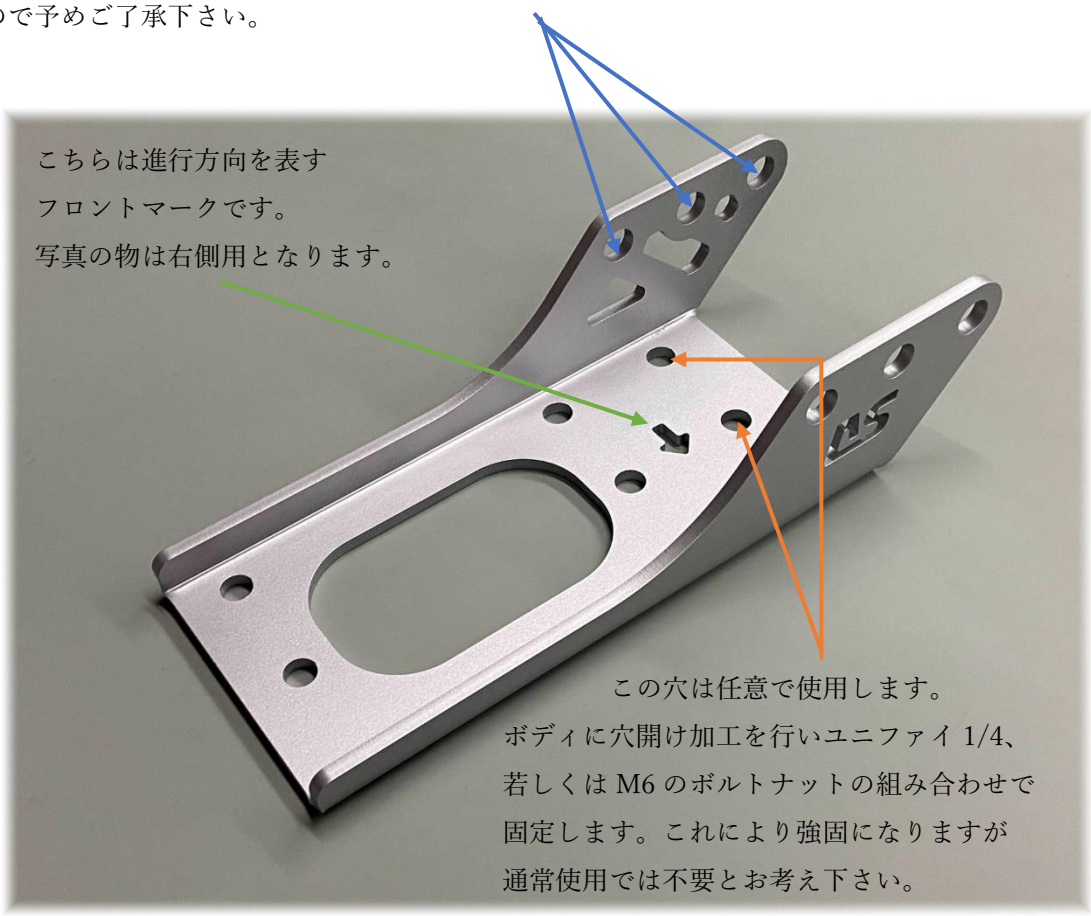
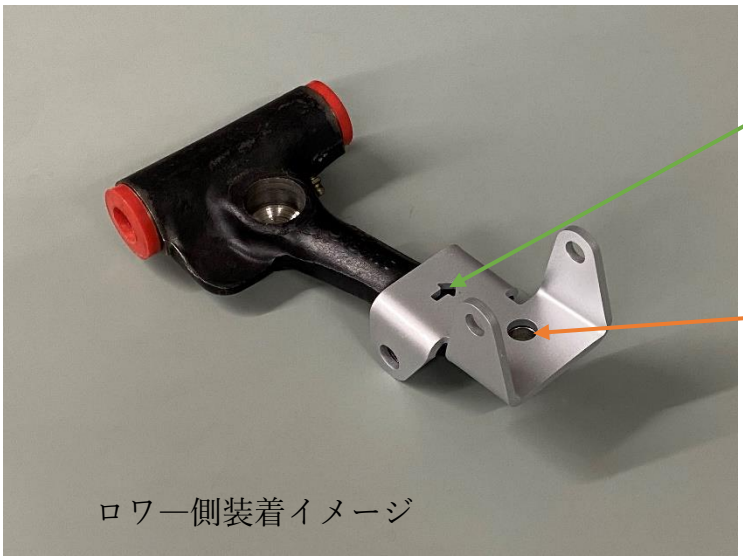
SV フロントショックネガティブマウント装着に関する参考資料①

ショック上側の取付穴が３か所ございます。
何処の位置に取付るかに関しては、基本一番上となります。
理由は車体着地（1G）状態でショックアブソーバーの縮み側のストロークの余裕を出来る限り増やす為です。
もし交換作業時に一番上まで少し届かないという状態の場合、パンタジャッキ等でロアアームを持ち上げる事で一番上に装着してあげて下さい。
仮に車高が高めの車両やショートストロークショック等の条件次第では一番上の穴を使用出来ないケースもありますので、その時は２番目、３番目の穴を選択してください。
いずれの穴の位置であっても、ショック取付時に意識する事は、ジャッキアップ状態でショックアブソーバーが伸びきった状態になる事、若しくはそれに近い状態で装着する事が望ましいです。その為にはパンタジャッキ等でロアアームを持ち上げながら作業する必要がございますので予めご了承下さい。



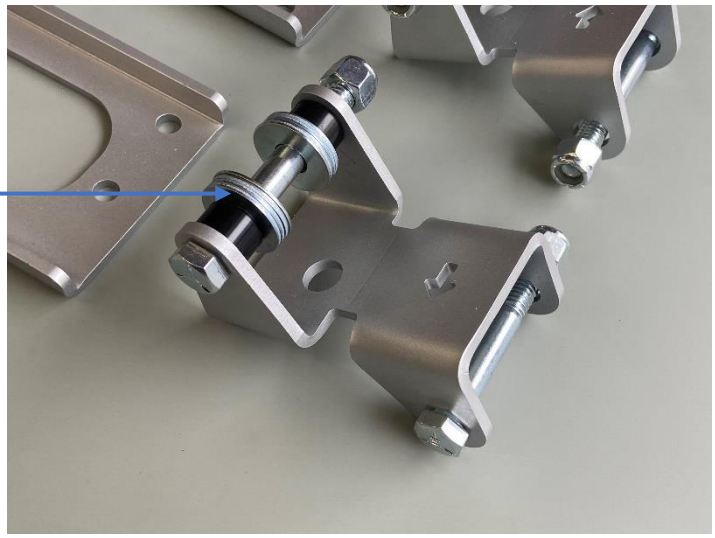
SV フロントショックネガティブマウント装着に関する参考資料②



こちらは進行方向を表すフロントマークです。写真の物は右用となります。

元のボールジョイント固定ナットを利用して共締めします。

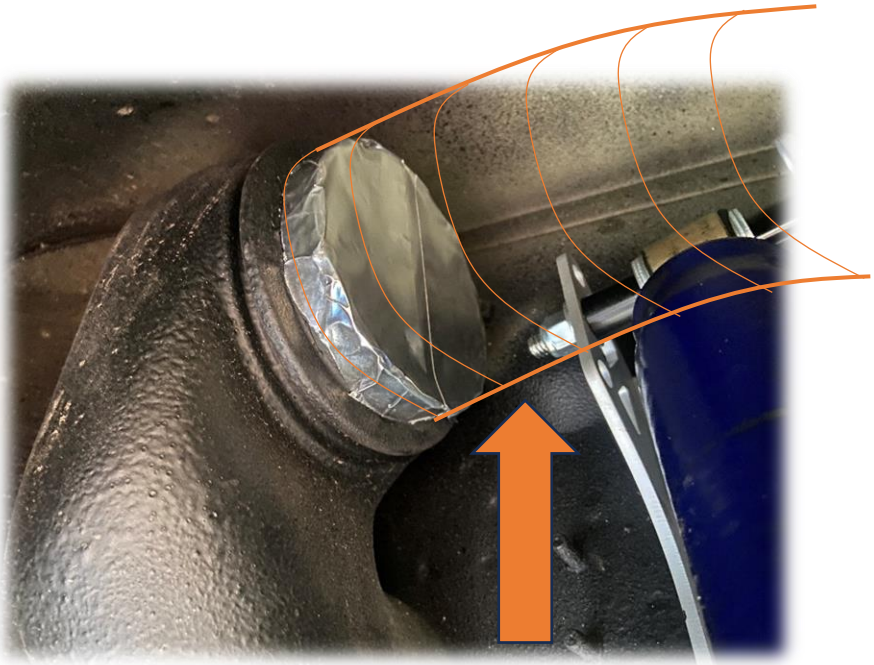
このワッシャーは取付するショックのメーカーによって入れる枚数を調整します。
メーカー毎にブッシュインナーチューブの寸法（幅）が異なる為です。
装着時のワンポイントアドバイスになりますが、
ワッシャーでクリアランス調整を行って頂く際、必ずしも隙間をゼロにする必要はございません。結果１㎜程度の隙間は許容範囲と考えて頂いて結構です。その分ブラケットは変形をしますが弾性変形（元に戻ります）の範囲ですので問題ございません。（アッパー装着時も同様）



SV フロントショックネガティブマウント装着に関する参考資料③

当パーツ装着により犠牲になってしまう機能

マークⅣ以降全車（右フェンダー内）



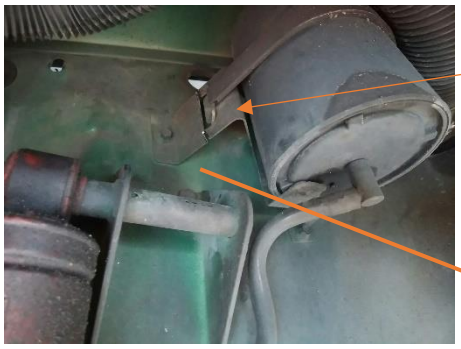
ヒーター用外気導入ダクトを取り除く必要がございます。

上側ブラケットに干渉してしまう為ジャバラホース部分を取り外します。
ダクト入口は塞ぐ事が望ましいです。
塞がない選択もございますが、雨天走行時の水の侵入が起こり得ます。
塞いだ場合、同時に車内側のダクトも取り外す事をお勧めします。
場所はブレーキペダルの上を通過するジャバラホースとなります。
これを外さないとヒーターベントレバーが外気導入位置の際
吸い込み不良となってしまう為です。
取外しには工具は不要で手作業のみで行う事が出来ます。

SV フロントショックネガティブマウント装着に関する参考資料④

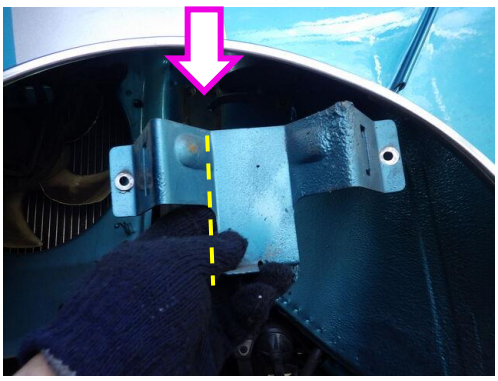
当パーツ装着時に加工や移動が必要となってしまう事

インジェクションモデル全車（左フェンダー内）

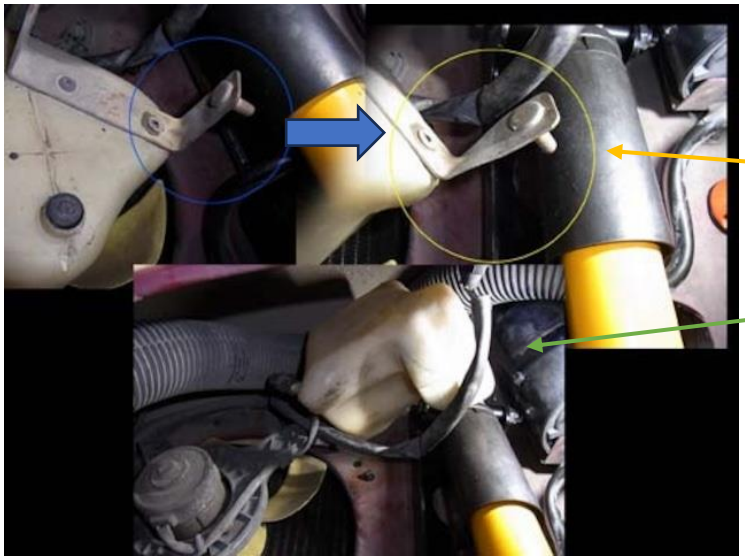


チャコールキャニスター用ブラケットの足
1 か所をカット

カットする位置



元の固定バンドが使えなくなるので
タイラップ等を代用します。



リザーバータンクは一旦取外し
ブラケット装着完了後に
上部固定用ステーを
画像のように
変形させ元の取付穴に戻します。

装着後のイメージとなります。
純正のリザーバータンクを
利用する場合はこのような固定が
作業性を考えた場合ベターと
なります。